

# 安全なホルマリン容器開発

富大などの研究グループは、ではホルマリンが入った容器  
4日、健康被害の恐れが従来を開けてサンプルなどを入れ  
より少ないホルマリン容器をる仕組みだった。

国内で初めて開発したと発表 研究グループが開発した容  
した。刺激性や発がん性を持 器は、ふたの裏側にホルマリ  
つホルマリンに直接触れずに ンをフィルムで密閉し、空の  
容器の密閉が可能となり、医 容器に組織サンプルなどを入  
療従事者らの健康を守る。 れてふたを閉めると、フィル  
富大 富大が破れてホルマリンが対象

## 富大など研究グループ

## 触れず密閉、健康被害防ぐ

林健一教授、富大附属病院 物を覆う仕組み。附属病院の  
理部の田近洋介臨床検査技師 医師や看護師、技師らの助言  
長、プラスチック成形の三晶 を基に試作を繰り返し、10ミ  
MEC（滑川市）でつくる研 じと25ミリの2種類を完成さ  
究グループが開発した。 せた。

容器は「病理組織固定用ホ 容器は1日から附属病院を  
ルマリン容器」と呼ばれ、検 はじめ各検査機関で販売を始  
査・病理診断のために採取し めており、今後は国内外の病  
た組織サンプルを保存・固定 院に販路を拡大する予定とし  
するために使われる。これま ている。